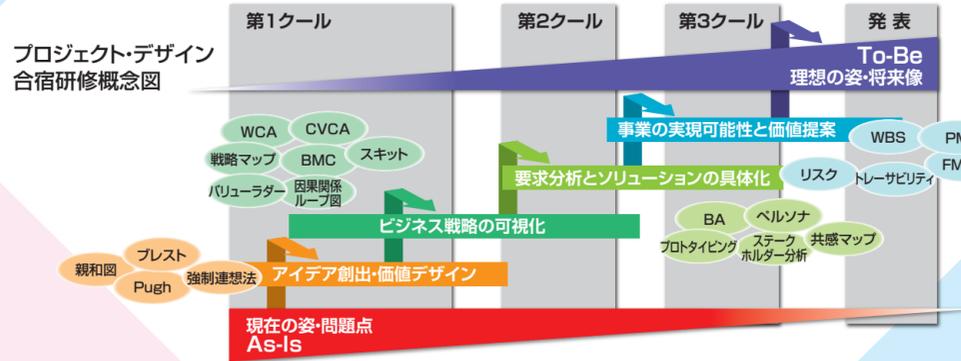


新しい価値を生み出す 熱い2ヶ月間。 協創SDGs



世界中を巻き込んだパンデミック、続く少子高齢化、生成AIの進展や地政学的リスクの高まりなど、社会構造や働き方そのものが大きく変わろうとしている今、従来とは異なる視点からイノベーションを生み出すスキルとマインドが一層重要となっています。

本研修は、複雑な社会課題に対し、創造的かつ実践的な解決策を導くことを目的としたプログラムとして、毎年進化を重ね、本年度で17回目の開催を迎えます。SDM研究科で培われたデザイン思考をはじめとする理論やツールを駆使し、戦略構想から具体的な要求分析まで一貫したテーマのもと、新規事業の創出と社会的価値の提案を行う構成です。DX、SDGs、ウェルビーイングといった現代的な潮流を取り入れながら、日本のみならず世界に通用するイノベーションを協創するのを目指します。

本年度のテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」。これは、関西万博のコンセプトであると同時に、持続可能で人間中心の社会を構想する上で、極めて重要な問いかけです。研修ではこの理念に沿って、技術だけでなく人と人との対話・共感・連携を重視したイノベーションを探究します。

とりわけ2025年度は、受講者から要望の多かった対面ワークを拡充し第2クールも集合同宿研修としました。立場や業種を越えて「顔を突き合わせ」て議論を交わすことで、互いの視点を磨き合い、強固なチームビルディングを実現します。

さらに本年度は、イノベーション実践において不可欠な「イテレーション

(反復)による発見と洗練」の重要性が実感できるよう、カリキュラムやインターバル課題の設計を強化。例年通り、ゼミ形式で講師との直接的な対話機会も設け、アイデアをブラッシュアップしていきます。アイデアは一度出して終わりではなく、問い直し、作り直すプロセスこそが、真の価値創造を導きます。最終日には、日吉キャンパスの大ホールにて、講義と試行錯誤を重ねて磨き上げたビジネスモデルを発表し、社会への提案として結実させます。

また、講義の一部はオンデマンドで視聴可能とし、各自のライフスタイルに応じた柔軟な受講が可能です。さらに、過去の修了生によるメンター参画、SDM学生による技術サポート、グループ共同作業ソールの活用により、受講者が安心して学びと実践に集中できる環境を整備しています。多様なバックグラウンドを持つメンバーとのグループワークやパネルディスカッションなどを通じて、日常業務では得られない視点や刺激を得ることができます。このプログラムをきっかけに、修了後も自主的なプロジェクトを継続するチームが数多く誕生していることも、本研修の大きな特長です。

なお、開講日以外にインターバル期間にグループ課題が課されるため、開催期間全体を通じて相応の時間を確保いただく必要があります。ご理解のうえ、ご参加ください。

ともに「いのち輝く未来社会のデザイン」を構想する仲間との出会いを、心よりお待ちしております。

大塚 有希子 当麻 哲哉

コンサルタント、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 非常勤講師、法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 准教授、博士(SDM学)、PMP、CBAP、ITC-インストラクター、1級FP

経済産業省、中小企業庁からの優秀案件採択、優秀アドバイザー表彰など。金融機関人事部、戦略企画部門を経て、現在はコンサルタントとして、戦略・マネジメントに関する人材開発、制度設計のコンサルティングを行いながら、社会人大学院にて教育・研究指導等。慶應SDM研究所の「ビジネスデザイン×プロジェクトマネジメントラボ」代表。PMP®資格受験対策講座も担当。本研修についてセミナーコーディネーターを務める。

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授、SDM研究所 マネジメントデザインセンター 代表、博士(システムデザイン・マネジメント学)、PMP

1988年3MIに入社、製品開発スペシャリストとして日米両国で約20年間、新製品をグローバル市場に導入、2008年より大学教員、現在に至る。2019～2020年マサチューセッツ工科大学訪問研究員。PMI米国本部GAC (PM教育プログラム国際認証機関)ディレクター、日本プロジェクトマネジメント協会理事、国際P2M学会理事、日本創造学会副理事長。著書に「グローバルプロジェクトチームのまとめ方：リーダーシップの新たな挑戦」(監訳、慶應義塾大学出版会)がある。



当麻 哲哉 Tetsuya Toma

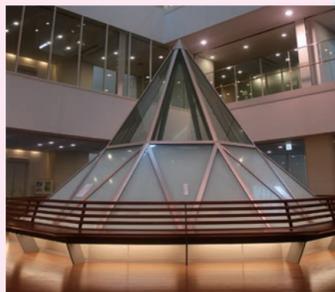
第17回 2025 プロジェクト・デザイン 合宿研修



全てのカリキュラムを修了された方には、最終日に「修了証書」をお渡しします。ご希望の方には最大80PDU (Education: Business acumen 5.3 / Way of working 10.5 / Power Skills 16.5) の受講証明、最大20ポイントのITCポイント付与証明を発行します。また、カテゴリ-2Bで最大39CDU自己申請することができます。

●申込方法
WEBサイトよりお申込ください。
<https://www.sdm.keio.ac.jp/2025/06/02-090000.html>

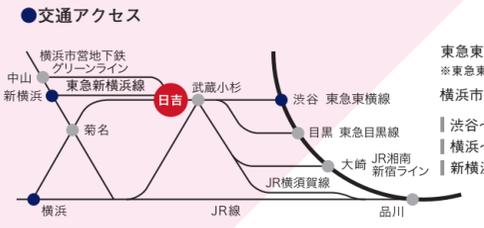
協生館宿泊施設 | 第1、2、4クールは合宿形式セミナーのため、9月16日(火)、17日(水)、10月15日(水)、16日(木)、12月7日(日)は原則として全員、協生館内の研修宿泊施設へ宿泊していただきます。ご希望の方は前後泊も可能です。



協生館

システムデザイン・マネジメント研究所 (SDM研究所) とは?

SDM研究所は、企業をはじめ社会のあらゆる組織におけるシステムデザイン・マネジメントの理解とマネジメント能力の向上のため先端的研究・教育を行い、広く社会の発展に寄与することを目的として2008年に開設された研究科附属の研究所です。公開講座・講演会・セミナー等の開催ならびに講師派遣、システムデザイン・マネジメントに関する研究調査、外部機関との研究プロジェクトの推進、国際機関・世界各地の大学および研究機関との協力・提携ならびに交流などの事業を行っています。



●交通アクセス
東急東横線、東急目黒線、東急新横浜線
※東急東横線の特急は日吉駅に停車しません。
横浜市営地下鉄グリーンライン
日吉駅直結
<http://www.sdm.keio.ac.jp/>

●お問合せ先
慶應義塾大学 日吉学生部 SDM担当
〒223-8526 横浜市港北区日吉4-1-1 協生館2F
Tel: 045-564-2518 Email: sdm@info.keio.ac.jp

協生館

合宿研修

第1クール デザイン+ビジネスモデル (問いのデザイン)

時間	事前	1日目 9/16 火	2日目 9/17 水	3日目 9/18 木
8:30-9:00	事前課題	チーム・ビルディング	「問いをたて価値を考える」	「ビジネスをデザインする」
9:00	事前	※オフィス・アワーは質疑応答や情報共有の場(任意参加)です。	オフィス・アワー	オフィス・アワー
10:30	8月29日(金) 事前課題説明会	開講式・事務連絡 10:00-10:30	「問いを考える」 長谷川	「デザインからビジネスへ」 長谷川
10:45	オンライン	休憩	休憩	休憩
12:15	20時~21時30分	研修イントロダクション 「研修概要および演習テーマ」 大塚	「問いを再定義する」 長谷川	「ミッションを考える」 濱
13:15		昼食(弁当)	昼食(各自)	昼食(各自)
14:45		「本質思考とは」 米澤	「アイデアを創出する」 長谷川	「ビジネスの関係性を分析する」 濱
15:00		休憩	休憩	休憩
16:30		「本質思考で研修テーマを深掘りする」 米澤	「インサイトを軸にピボットする」 長谷川	「ビジネスのシナリオを検討する」 濱
16:45		休憩	休憩	休憩
18:15		チーム・ビルディング 大塚	「価値を考える」 長谷川	「ビジネスモデルの構造を考える」 濱
19:30		夕食(各自)	夕食(各自)	夕食(懇親会)
21:00		チーム・ビルディング 大塚	「価値連鎖を考える」 長谷川	

時間	4日目 10/15 水	5日目 10/16 木	5日目 10/17 金
	「問いをたて価値を考える」	「ビジネスをデザインする」	「ビジネスをプロジェクトとしてデザインする」
	「問いを再定義する」	「インサイトを軸にピボットする」	「本質思考で研修テーマを深掘りする」
	「アイデアを創出する」	「価値を考える」	「ビジネスの関係性を分析する」
	「ミッションを考える」	「ビジネスモデルの構造を考える」	「ビジネスのシナリオを検討する」
	「問いをたて価値を考える」	「問いを再定義する」	「アイデアを創出する」
	「デザインからビジネスへ」	「価値を考える」	「ビジネスの関係性を分析する」
	「ビジネスをデザインする」	「ビジネスモデルの構造を考える」	「ビジネスのシナリオを検討する」
	「問いをたて価値を考える」	「問いを再定義する」	「アイデアを創出する」
	「デザインからビジネスへ」	「価値を考える」	「ビジネスの関係性を分析する」
	「ビジネスをデザインする」	「ビジネスモデルの構造を考える」	「ビジネスのシナリオを検討する」

時間	6日目 11/10 月	7日目 11/11 火
	「問いをたて価値を考える」	「問いを再定義する」
	「デザインからビジネスへ」	「価値を考える」
	「ビジネスをデザインする」	「ビジネスモデルの構造を考える」
	「問いをたて価値を考える」	「問いを再定義する」
	「デザインからビジネスへ」	「価値を考える」
	「ビジネスをデザインする」	「ビジネスモデルの構造を考える」
	「問いをたて価値を考える」	「問いを再定義する」
	「デザインからビジネスへ」	「価値を考える」
	「ビジネスをデザインする」	「ビジネスモデルの構造を考える」
	「問いをたて価値を考える」	「問いを再定義する」
	「デザインからビジネスへ」	「価値を考える」
	「ビジネスをデザインする」	「ビジネスモデルの構造を考える」

第4クール 最終プレゼンテーション

時間	8日目 12/7 日	9日目 12/8 月
	「問いをたて価値を考える」	「問いを再定義する」
	「デザインからビジネスへ」	「価値を考える」
	「ビジネスをデザインする」	「ビジネスモデルの構造を考える」
	「問いをたて価値を考える」	「問いを再定義する」
	「デザインからビジネスへ」	「価値を考える」
	「ビジネスをデザインする」	「ビジネスモデルの構造を考える」
	「問いをたて価値を考える」	「問いを再定義する」
	「デザインからビジネスへ」	「価値を考える」
	「ビジネスをデザインする」	「ビジネスモデルの構造を考える」
	「問いをたて価値を考える」	「問いを再定義する」
	「デザインからビジネスへ」	「価値を考える」
	「ビジネスをデザインする」	「ビジネスモデルの構造を考える」

受講者のコメント



北 大樹
株式会社SUBARU
(第15回参加者)

全く異なる業種の方々と「脳みそフル回転」で課題に取り組むことで、新たな思考回路を構築するだけでなく、これからを支え合う仲間が増える刺激的な3カ月を経験出来ました。研修後も仲間と交流し、学び続けられる貴重な研修です。



武井 森
株式会社アデコ
(第15回参加者)

新しいアイデア・イノベーションを生み出す難しさと、それをビジネスという形にする難しさ。この異なる二つの要素を同時に学べる非常に意義のある研修でした。また、講義と受講者間の協業による学び、リアルとリモートを組み合わせなど、継続して学び続けられる仕掛けがあり、今までの研修にはないほど自発的に学べたと思います。



武田 佳祐
リコージャパン株式会社
(第15回参加者)

新たな人生が動き出す!未来を切り拓く力を養う時間
100年先を見越した俯瞰的問題意識を持ち、創造的にデザインし新しいアイデアを生み出す力が身に着きます。本音でぶつかり研鑽し合える仲間との出逢いも人生の宝物!



岡久 さおり
株式会社野村総合研究所
(第16回参加者)

普通の業務で出会うことのない異業種の多様な受講生とシステム思考を掛け合わせアイデア創出からビジネスモデル策定に至るまでを一貫して学べる唯一の研修で、最先端の技術を活用した新しいサービスシステムのさらなる発展や他業種への展開のためのヒントを見つけるシステム×デザイン思考を身につけられました。

講師プロフィール



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科委員長 教授 博士(システムエンジニアリング学)

三菱電機(株)を経て現職。専門分野は、イノベーション創出にむけた新価値創造方法論であるシステムxデザイン思考や、システムズエンジニアリング。2015~2019年、内閣府革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)のプログラムマネージャーとしてSAR衛星を開発。現在は情報処理振興機構デジタルアーキテクチャ・デザインセンター有識者会議座長、(一社)スマートシティ・インスティテュート エグゼクティブアドバイザー、内閣府宇宙政策委員、経済産業省グリーンイノベーションプロジェクト部WG3座長などを兼任。



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特別招聘 教授 プロジェクトマネジメント/人材育成コンサルタント、プロフェッショナルメンター、投資家

元アクセントゥア株式会社マネージングディレクター。約27年のアクセントゥアのキャリアでは、プロジェクトマネジメントグループ統括、SAPプラットフォーム統括、教育責任者、品質管理責任者、などを歴任。2008年の慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科設立時から教鞭をとっている。専門分野はプロジェクトマネジメント、本質思考・本質把握力、人材育成、組織運営、リーダーシップなど。著書「プロジェクトマネジメントの生活のススメ」(日経BP)、「本質思考トレーニング」(日本経済新聞出版社)、「なぜ、あの人の会話は噛み合わないのか」(プレジデント社)



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 工学博士

モデルベースシステムズエンジニアリング、システム安全、デジタルトランスフォーメーションなどの教育・研究に従事。慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科教授、一般社団法人JCSE代表理事、日本機械学会フェロー、JST特任フェロー。著書:実践に活かすモデルベースシステムズエンジニアリングの基礎(編著)、システムズモデリング言語SysML(監訳)など。担当授業科目に「ビジネスプロセスのモデリングとマネジメント」などがある。



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 非常勤講師 特任助教 リコージャパン(株)人材開発センター シニアスペシャリスト

慶應義塾大学SDM研究科でシステムエンジニアリングを履修後、人材育成と事業開発を同時に行うメソッドの研究・開発を行う。現在は、SDM序論の非常勤講師として教育に従事。また、株式会社リコーで長年基幹システムの要求開発を担当し、SDM学を活用した事業開発型の人材育成プログラムを展開。その後、リコージャパンデジタルアカデミーを創設。人材開発戦略を担当している。



株式会社彩成コンサルティング代表取締役 PMAJ研修委員会委員、東洋大学非常勤講師

建設コンサルタントで都市計画、交通計画のプロジェクトを担当。その後パナソニック株式会社のシステムソリューション部門及び人材開発部門にて、システム開発部門のSE及びPMとして、各種プロジェクトを担当。さらにNTTデータの研修機関である株式会社NTTデータユニバーシティを経て、現在は株式会社彩成コンサルティングを設立。専門はプロジェクトマネジメント・事業戦略・人材育成など。事業戦略・プログラム&プロジェクトマネジメント・パーソナルスキルなどの研修を推進中。



法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科 教授 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任教授 博士(システムエンジニアリング学)

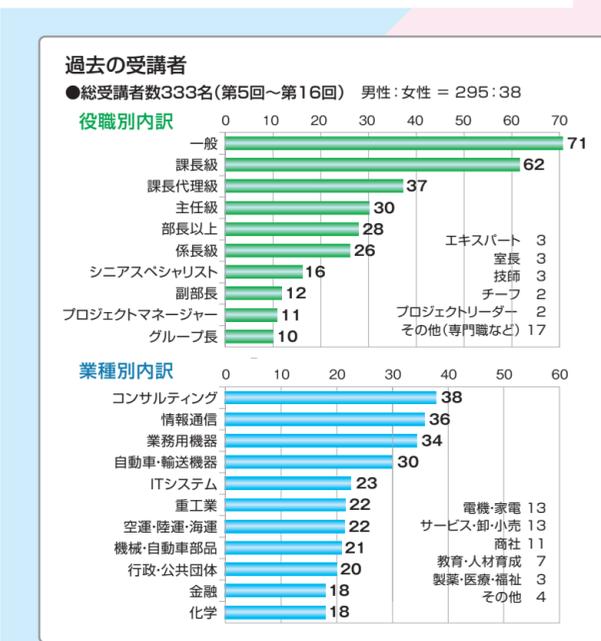
富士ゼロックス株式会社、城西国際大学大学院を経て現職。米スタンフォード大学にて顧客価値分析を活用した事業創出および製品企画プログラムに参画。現在は、大学や企業にて地域創生をテーマにしたPBLおよび顧客価値分析手法を用いた事業創出プログラムを展開。企業の人材育成プログラム、管理職研修、ビジネスゲーム研修、企業・自治体向け講演など多数。慶應義塾大学大学院経営管理研究科 非常勤講師も兼任。著書「働きながらでも博士号はとれる(研究社、2014)」など。



最終プレゼンテーションの様子。受講生が各自のビジネス提案を発表している。



新規事業「PETZ」の提案発表の様子。発表者がスクリーンを指しながら説明している。





松田 理子
日本航空株式会社
(第16回参加者)

多様な価値観に触れながら、イノベーション創出のための思考法を学び、実践する濃密な3カ月でした。あたりまえだと思って見過ごしてきたことを疑い、感覚で行動してしまう前に思考を整理することが、物事の本質に近づくための近道であることを実感することができました。



足立 尚哉
株式会社エビデント
(第16回参加者)

イノベーション創出手法を体系的に学び、多様なメンバーで連日グループワークすることで学びを血肉にしていく貴重な経験でした。メンバーとは本音で議論したからこそその深い関係ができ、研修後も交流を続けられる仲間を得ることができました。